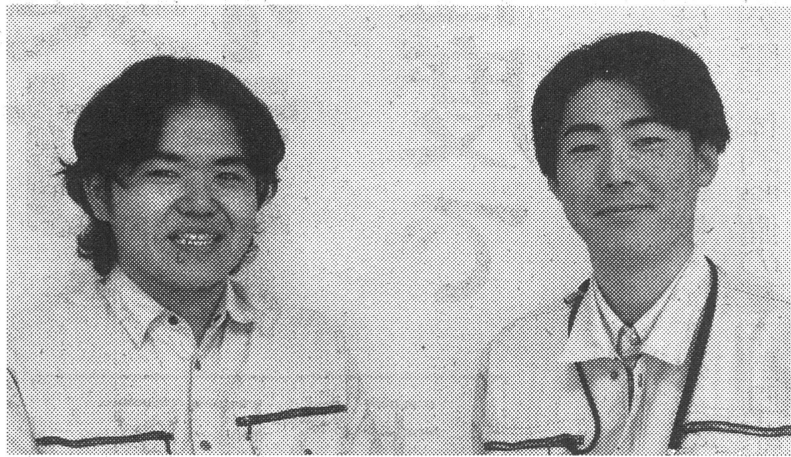


北区王子に会社を構え、今年で創業115年を迎える越野建設は、首都圏を中心に学校、マンションなど幅広い施工実績を持つ。2026年には楽器が演奏できるコンセプト賃貸「音楽マンション®」シリーズが62棟に達した。北区内にある中央工学校を卒業し、同社に入

社した24歳の若手社員の木村優輔さんと桑田勇進さんに、これまでの業務内容や今後の夢について話を聞いた。

越野建設（北区）  
入社5年目

木村 優輔 さん



越野建設（北区）  
入社4年目

桑田 勇進 さん

「越野建設に入社したきっかけは。」

木村「小さい頃からものづくりが好きで、将来は建設業に携わりたいと思い、茨城県内にある普通科の高校を卒業後に上京し、中央工学校に入学した。当時住んでいた王子

も多く在籍している点が良かった」

桑田「父親が建設会社で働いていて、自分も同じ道に進むと決めていた。就活を始めて最初に訪問したのが越野建設だった。2週間のインターンに参加し、実際に働いてい

と、工事の進め方も少しずつ変化する。臨機応変かつ正確に作業を進めることの大切さを知ることができた。各現場で多くの社員とコミュニケーションが取れたことも良かった」

桑田「2年目からは現場に

## いつでも臨機応変かつ正確に

## 勉強重ね後輩を引っ張りたい

のまちに愛着が湧いたこともあって、そこから通いやすい会社に就職したいと考えた。勤務地を北区に絞って調べ、地元の越野建設を受けた。コロナ禍でインターンの募集が無く、代わりに2日間の職業体験に参加した。若手が活躍しており、中央工学校の先輩

現場を見て業務内容や会社の雰囲気を実感できたことから入社した」

「実際に働いた感想は。」

木村「新入社員研修で、1年目は現場を数カ月ごとに回り、建物が完成するまでの各工程を学んだ。場所や広さ、ニーズなどの条件が異なる

が、学ぶことは尽きない。今でも日々勉強を積み重ねていく必要があると感じている」

「今後の夢を聞かせてほしい。」

木村「1級建築施工管理技士の1次試験に合格した。来年の2次試験に向け、先輩社員からアドバイスをもらいながら勉強している。資格の取得はスタート地点と考えているので、社員や作業員にとって風通しが良く生き生きと働ける現場をつくる所長を目指したい」

桑田「昨年、2級建築施工管理技士の1次試験に合格。今年7月に1級の1次試験を控えている。まずは与えられた仕事と資格の勉強をしっかり両立して合格を目指したい。ゆくゆくは所長として後輩を引っ張っていけるように頑張りたい」